

駒澤大学大学院進学相談会の開催にあたって（ご挨拶）

駒澤大学は今から 429 年前の 1592（文禄元）年に江戸駿河台に設立された曹洞宗の僧侶が修学するための「学林」から始まりました。仏教の教えと禅の精神を建学の理念とし、大学院においても、これまでに多くの修了生を送り出してきました。

長い歴史と伝統に裏打ちされた本学は、現在、大学院に、仏教学、人文科学、経済学、商学、法学、経営学、医療健康科学、グローバル・メディアの 8 研究科と法曹養成研究科（専門職大学院）を置いており、全体で 200 余名の学生が学んでいます。便利な都心に位置しながら、駒沢オリンピック公園に隣接した緑豊かな環境で研究活動を進めることができます。

本学では、毎年 6 月と 11 月の年 2 回、大学院進学を志す方々に、実際に研究の拠点となる駒沢の地に足を運んでいただき、教員や現役の大学院生との個別相談等を通じて、本学大学院の魅力に触れていただく進学相談会を開催しております。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染状況は未だ収束が見えないことから、皆様の健康・安全を第一に考え、6 月の進学相談会は WEB 開催といたします。直接お目にかかれなことは遺憾ではありますが、皆様の将来に向けた貴重な場の提供となることを心から願っております。

さて、大学院とは、高度な専門分野の研究活動を行うことのできる能力を養成し、それぞれの研究テーマを深く追及してゆく場です。専門研究には、人類が歩んできた歴史について考察することや、未知の領域を探求し、新たな事実の発見を目指すことなど、さまざまな方向が存在しています。一方で、デジタルによる学びが当たり前の時代になりました。世界の情報が瞬時に手に入るだけでなく、研究の成果を世界へ発信できるようになったことは、皆様の研究活動の選択肢も無限に広がっていることを意味します。

学部で培った学力を基礎にし、それを深化させるのが大学院における研究ですが、そのためには、幅広い知識と柔軟な思考方法を身につけることが大切です。大学院での学びを通して、深い考察力を身に付け、研究に真摯に取り組み、社会の発展に寄与できる人となることでしょう。そのような志高い皆様の入学を期待しつつ、皆様の目標達成に協力を惜しまないことをお約束します。

各研究科・専攻の先生方から研究内容や環境、入試の情報や経済的支援についてできるだけ多くの情報を入手していただき、本学の大学院での学ぶご自身の姿を想像いただきたいと思えます。

最後に、新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束を祈るとともに、皆様方が充実した人生を築かれることを心より祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

令和 3 年 6 月 吉日

駒澤大学長 各務 洋子